

E. 学習・研究環境の改善

③昼夜開講、休日開講などによる社会人学生等への履修上の配慮

●佐賀大学 農学研究科

「高度な農業技術経営管理者の育成プログラム」の事例 <理工農系>

具体的に何を実施したのか

農学研究科に社会人対象の特別の課程(履修証明:佐賀大学農業技術経営管理士)を併設し、夜間開講を実施し、大学院生と社会人が共に学習するシステムを導入した。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

特別の課程の演習科目には大学院生も参加し、学生の学習モチベーションの向上に努めた。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

社会人と共に学ぶ学習環境の中で、通常の講義や演習を超えて、現場でのディスカッションを含む交流が進み、コミュニケーション能力や問題解決型の学習態度の醸成に寄与できた。

●岡山大学 医歯薬学総合研究科

「ARTプログラムによる医学研究者育成」の事例 <医療系>

具体的に何を実施したのか

大学病院における卒後初期臨床研修医が大学病院所属の社会人大学院生として大学院に進学できるようにした。

実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと

大学院を昼夜開講とし、すべての座学講義を夜間午後6時45分以後あるいは休日開講として、卒後臨床研修と両立出来る様にした。

どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか

制度実施以前は大学院進学者の大部分が、学部卒業後に長期間を経ており、学外の関連病院所属の勤務を主とする社会人大学院生であったのに対し、本制度実施後は卒後直ちに大学院に進む人が増えた。大学院全体としても人気が高まり定員を充足するようになった。大学院生の研究の質が高まり、また研究医を目指す人材も増えた。